

---

# 暗闇遊戯

青芽野 雫

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

暗闇遊戯

### 【Nコード】

N3689Y

### 【作者名】

青芽野 雫

### 【あらすじ】

真夜中。何も見えない闇の中で目を覚ました僕は、女達の悲鳴と、男達の笑い声を聞く。死んだように眠っている隣の人、響く男の声、狂ったように笑う男女。君は、この謎の惨劇の真相に辿り着けるか？

これは明日の生死をかけた戦い。周りは全て敵のバトルロワイヤル。一撃もらえばそれ即ち死。さあ……闇の遊戯のはじまり、はじまり……

悲鳴が聞こえる。女の声だ。酷い金切り声。長く耳障りなその声は、黒板を引っ掻く音を想起させる。

笑い声がする。こちらは男だ。楽しそうに、愉しそうに、笑っている。

僕はその声に目を開けた。真夜中、真っ暗な大広間の真ん中、大量に敷いてある布団の上で僕は寝ていたようだ。ぼーっとした頭では、それを思い出すのにも時間がかかった。部屋の周囲から、笑い声と悲鳴が聞こえ続けている。

ふと、右手が温かい何かに触れているのを感じた。なんだ？と思っ  
つて近づく。呼吸音がする。どうやら、人のようだ。

「大丈夫？」

声をかけるが、反応が全くない。まるで、これじゃあ、死んで……

ドサツ、と僕の近くで何かが倒れる音がした。手探りで近づく。触れると、その女は怯えたような声を出した。

「安心して、何もしないよ。大丈夫？」

「嫌……嫌……あ……」

そう言つと、事切れたかのように倒れてしまった。呼吸はあるよ

うだが、一体どうしたのだろう？

何が起きてるのか探ろう。好奇心の強い僕は、その思いと共に枕を持って立ち上がった。

瞬間、風切り音と共に、耳元を何かが掠った。

「うわ!？」

僕は慌てて伏せる。何だ今のは？

すると、男の笑い声が一際大きくなり、こう叫んだ。

「大分犠牲者が増えたようだな。では、これからより熾烈な本戦を始める」

犠牲者？ 本戦？ 何が何やらわからない。僕は伏せ続ける。

「……開始!」

男女関係なく混じり合った笑い声が聞こえ始めた。狂ったように笑っている。時折混じる悲鳴。

わからない。見えない。だから恐怖は加速する。怖い怖いこわい  
コワイコワイ……っ！

誰かが近づく足音がする。

一步、一步、踏みしめるようなその音に吐き気がする。

そいつは僕の真横で立ち止まったようだ。僕は枕を握りしめた。

恐怖で冷や汗が滲む。

「オマエ、オキテルナ？」

血の気が引く。何故この暗闇でわかる？ 殺される？ さっきの二人が思い浮かぶ。  
死にたくない。  
死にたくないっ！

僕はとっさに立ち上がり、手に持った物で相手を殴りつけた。  
やってしまった。僕はそう思った。今の行動のせいで僕はこいつの逆鱗に触れ、さっきの死んだように眠る二人と一緒に、いや、それ異常の酷い目に遭うのだ。

「グワアアアッ！」

だが、その予想は外れた。苦しそうに叫んでそいつは倒れたからだ。

何故だ？ 僕はそいつを殴った物の感触を確かめる。枕だ。確かに枕だ。

だが、だがもし違ったら？ 何も見えない暗闇で、何故確かに枕だ、とわかる？

僕はひっ、という悲鳴をあげて、“それ”を放り投げた。

もう嫌だ、嫌だ！ 誰か、誰か助けて！

その時、真つ暗な部屋に急に光が差し込んだ。静まる部屋。眩し

いが薄目でそつちを見ると、人影がひとつ入ってくるのがかるうじでわかった。

それが右手をあげると、パチツという音ともに、部屋が明るくなった。眩しさに目がくらむ。そして、入ってきた人影は声を張り上げてこう言った。

「こんな時間に何で枕で殴り合いなんてしてるんですか！」

僕は安堵した。なんだ、枕で殴り合っていただけか、と。そうして、僕はまだぼーっとしている頭で眠りについたのであった。

……ちなみに、最初に僕が右手で触れていたのが、クラスの美少女マイナちゃんの、非常に、非常に慎ましい胸であった、というのは、僕だけの秘密である。

(後書き)

企画競作第二段。

お題「枕」

企画競作に興味ある方は、小説家になろう」で企画競作するスレ  
Part 3 (<http://yuzuru.2ch.net/thread/read.cgi/mitemite/1319658024/150>) に是非。

最後遊びました。主人公羨ましいぜ！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3689y/>

---

暗闇遊戯

2011年11月15日15時40分発行